試験田で機械植え

田植え作業の機械化目ざす

◎……機械を使った田植えを行ない、収穫までの調査を実施し……◎
◎……ようと、五月六日、市、小林農協、農改普及所、研究熱……◎
◎……心な農家などが中心に、田植え機を使って田植えを行な……◎
◎……い、農業関係者からその成果が注目されています。……◎

機械植えの成果を見ようと集まった仲間たち

農作業が近代化されてきた中で、一番機械化の遅れているのが田植え作業と稲刈り作業です。それでも稲刈りは、昨年ごろからバインダーや小型コンバインなどの普及で、除々に近代化されてきました。

しかし、一番労力の集中する田植え作業は、いぜん手労働で行なわれており、その機械化がさけばれていました。そんなとき田植え機がお目見えし「省力化に役立つ」と農家の期待と注目をあつめました。

その当時の機械は、なるほど人の四、五倍ものスピードで田植えを終え、省力化という点では実力を示しました。しかし〝ムラ〟が多く、収穫も十アール当たり四百八十キロ前後とその期待を満足させてくれませんでした。

その後機械が改良されたので〝当市に合った方法を見い出そう〟と、このたびのように試験的に実施し、田植えから収穫までの調査に踏み切ったものです。

今回は、市内鍋潟と道潟の集団稲作実践集団に所属する農家四人に、それぞれ十アールずつの試験田の提供を依頼し、田植え後、農改普及員、農協営農指導員、耕作者の全面的な協力を得て、成育相から収量構成まで詳細に調査します。

とくに機械植えでは稚苗を使うため、その後の肥培管理を、普通田で成苗を植えた場合とどう違うか、また、その管理も、これまで国、県などの各地で行なわれた場合と当市の場合はどう違うかなどが調査の重点におかれています。

この日の機械植えは、鍋潟部落の徳永憲一さんと生野栄八さんのホ場で行なわれ、田植え機は、小林農協が組合員への貸し出しとして今春購入したものを使用しました。

「機械植えの成果を見よう」と集まった仲間が見守る中で、十アールを約二時間で終えました。

明るい話題二つ

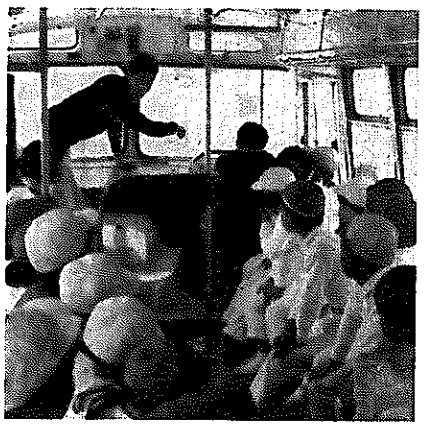
五月にはいって、白根小学校と白根中学校にそれぞれつぎのような明るい話題が舞い込み、関係者を喜こばせています。

「わかくさ号」が到着

「春の全国交通安全運動」の第一日目である五月十一日、白根小学校のグラウンドに大型バスが乗り込み、同校の児童をビックリさせました。このバスは、新潟交通株式会社が「正しい交通マナーの指導に役立ててください」と寄贈したもので、同校ではさっそく校歌の一節をとって「わかくさ号」と命名し、全校児童と職員で歓迎式を行ないました。

同校では、昨年から毎月一回一時間ずつの交通教室を行ない、教室、グラウンド、道路などで正しい交通マナーの指導に当ってきましたが、さっそくこのバスを使って交通教室を行なっています。

同校では「児童がバスに乗ったり本物のバスを見たりして、楽しみながら正しい交通マナーを覚えてくれるので助かります」とその喜びを話していました。


わかくさ号でさっそく交通マナーの指導

山田学級で印刷技術の指導

白根中学校では同校の特殊学級に笹勇印刷（株）から手動式の印刷機（通称手フートー）の寄贈があり、いまその機械を使って職能教育に役立てています。

同学級は山田学級（山田昭三郎教諭担任、生徒十五人）といい、いままでは、プラスチック加工で、全校生徒の名札作りや、ぞうきん、楽焼きの製作、給食用牛乳の配分などの作業に力を入れてきました。しかし、プラスチックの工場が倒産したため、その後は、行なわれていませんでした。同教諭は印刷技術の習得を考えたが、費用やその他の関係で実現できないでいたところへ、このたびのような話が持ち込まれ、それが実現したわけです。

県職員の採用試験

県人事委員会は、つぎのような職種の「県職員採用上級・中級試験」を行ないます。

希望者やくわしく知りたいかたは、県人事委員会事務局（新潟23五五一一）へ問い合わせください。

1.受け付け期間　六月十七日から七月十三日まで（当日の消し印あれば有効）
2.職種　◇上級＝一般行政、福祉行政、土木、農業土木、農業、林業、建築、機械、化学、電気、農芸化学、農業改良普及員、生活改良普及員　◇中級＝農業改良普及員、生活改良普及員

こん月の納税メモ

軽自動車税　全期分

納期限は三十一日ですからお忘れなく納めてください

わが校の伝統

松橋小学校　その1

いま市内には19の小・中学校があります。わたくしたちの中には、自分の母校がいつ開校され、いまの校舎がいつ建てられたのかなどを知らない人がいることと思います。そこで「わが校の伝統」という題で紙上学校めぐりを連載することにしました。みなさんといっしょに各学校の歴史をひもといてみましょう。

開校当時は民家で授業

松橋小学校（真柄恒也校長）は明治六年に開校されました。学制発布は明治五年ですから、その直後開校されたことになり、市内の小学校の中でももっとも古い学校の一つです。

開校当時は、寺や田村兵三郎さん（松橋部落）宅などの民家で授業を行ない、一般に〝寺小屋〟と呼ばれる程度のものだったろうと考えられます。このような型の授業が明治二十五年ころまで続けられ、このころになってようやく神保先生という校長が着任してこられました。

明治六年に開校

はじめての校舎が建てられたのは、校長が着任された前か後かはっきりしませんが、とにかく明治二十七、八年以前に建てられたことは事実です。このとき建てられたのは教室、廊下兼遊び場、校長住宅、便所だったそうです。そして、明治三十六、七年ころ教員室と教室二つが増築されようやく学校らしい型が整ったようです。

さらに、大正三年には体育館と教室二つを新築し、いままでの体育館を校長住宅に改築して、現在もなお使われています。そして大正十三年にいままで体育館として使っていた校舎を、新築した校舎に上げて、二階建ての現在の校舎が完成し、現在ある古い方の体育館は、いままで教員室と教室に使っていたものを改装したものです。その後、少しづつの改装を加え昭和三十八年に二百九十七平方㍍の体育館が完成し、現在にいたっているわけです。

（次号へつづく）

歴代校長のお名前（敬称略）

神保校長、風間善平、石田栄治、清水庄平　佐藤貞之助　佐藤順司、阿部信介、押見藤三郎、奈須和作、小柳信助、星篤、洪野博孜、島田俊夫、玄間忠三、石崎石太郎、松永久、今井誠一、真柄恒也

松橋小学校の校舎（円内は真柄現校長）

緑の大敵〝アメリカシロヒトリ〟に注意

見つけたらすぐ連絡を

緑の大敵〝アメリカシロヒトリ〟が大あばれする時期がもうすぐやってきます。この虫は、街路樹や庭木などのほかクワやナシなども食い荒らす雑食性のおそろしい害虫です。昨年は新飯田地区に発生し大がかりな防除が行なわれました。ことしもその発生が予想されますので、つぎのことに注意してください。なおアメシロを見つけたらすぐ農家組合長か嘱託員に連絡してください。

アメシロの防除方法

この幼虫はかたまって巣をつくる性質があります。もし巣を見つけたら、巣の部分を切り、ふみつけるか焼くかしてください。これがいちばんかんたんで効果のある方法です。この場合火事にならないよう充分注意してください。

図書館だより

市立図書館は、あなたのお越しをお待ちしています。ぜひ、あなたの暮らしの中に、お役立てください。いつも心からご奉仕をいたしております。

―開館時間―
◇平日は午前十時から午後五時まで。
◇火・金曜日は午後八時まで
―休館日―
◇日曜日　◇祝日　◇年末年始　◇ばく書期間
―館外利用―
◇図書はひとり二冊まで。禁帯出（辞典・重要文献）などは館内でご利用ください
◇貸し出し期間は七日間。
◇はじめて館外貸し出しをご利用なさる人は、係に申し出て〝利用カード〟を作ってもらってください。

新刊書案内

▽わが切抜帳より　永井龍男著

暖たかな、鋭い眼と神経の行き届いた折り目正しい美しい文章で綴る名随筆六十篇余。器量・炭百俵・酒徒文法・中原中也・菊池寛・役得・夫婦の作品・デンキ屋問答など

▽続々パイプのけむり　団　伊玖磨著

「パイプのけむり」「続パイプのけむり」の続編。筆者は作曲家で「パイプのけむり」で第19回読売文学賞を受賞。本書も全世界にわたる舞台で、その凝視する筆調はますますさえて、いよいよ佳境にはいる珠玉随筆集。

▽亡妻の記　西条八十著

多くの人々に愛されている名歌のかずかずを世に送ってきた著者が、そのみずみずしい詩的感覚を麗筆にたくして伝えた亡き妻をしのぶ随筆の数かず。

詩人の魂の美しさと哀しさとが、読む人々の胸にそくそくとせまる名随筆。

■パパ！ママさんの必読書

楽しい入学式も終わり、新学期。ご家庭のお子さまも元気でお勉強。ぜひパパ！ママさんからお読みいただきたい本のあれこれ。お気軽に市立図書館をご利用ください。

▽非行化と親の責任　▽こんな親なら教師なら　▽問題持つ子の教育相談　▽通知簿の見方・考え方　▽家庭の道徳教育　▽叱ってよい時わるい時　▽一年生のしつけと勉強　▽母の歴史　▽親のねがいと子の心　▽家庭学習の質問に答える　▽教育の森

■県立図書館文庫を開設

さる六日から県立図書館文庫を新設しました。これは白根読書クラブ（代表＝大関文子）と、大郷読書クラブ（代表＝保田美恵子）の計らいで新潟県立図書館から二カ月に二百冊の本を借り受け、白根市立図書館内に開設、広く市民の皆さまからご利用いただくものです。

市立図書館では、同文庫の開設で年間千二百冊もの本がフル利用できるとあってお喜び。同文庫の利用者も日増しにふえ、連日好評をていしています。

図書寄贈者名

昭42・11～43・3

▽柏一二＝下木山▽白根婦人会▽安藤竹男＝下塩俵▽笠原ソヨ＝中塩俵▽松尾智子＝みのロ▽中村武＝みのロ▽小林律子＝田尾▽秋山コト＝魚町▽中山尚治＝五六の町▽片柳広＝二の町▽保田美保子＝下大郷▽保倉英行＝魚町▽山田春雄＝上茨▽青柳栄一＝巻▽中山ヤイ＝菱潟▽鈴木竜男＝五六の町▽大平忠雄＝札幌市▽池田譲＝中央通り六▽安達京子＝桜町第一▽小柴庄一＝魚町▽松沢晃作＝左ェ門小路▽小千田勇＝中央通り三▽丸山三代市＝諏訪の木▽薄田栄子＝能登▽山田勇＝桜町▽ダイヤモンド社＝東京▽小林農平＝上塩俵▽鳥谷マサ＝桜町▽丸山れい子＝諏訪の木▽谷太一郎＝四の町

6月6日 航空自衛隊音楽隊（50人）が来市 市内パレードと演奏会

〈期間中の行事予定〉
◇仏檀と物産展示即売会（期間中、産業厚生会館）
◇植え木、金魚市
◇中央航空自衛隊音楽隊五十人で市内パレード（十時三十分白根小校庭を出発）午後一時から産業厚生会館で演奏会
（写真は凧つくりに一生けん命の青年たち）

当市恒例の大凧合戦はもうすぐです。開催日までに間にあわせるよう各組では準備に取りかかっていることと思います。

大凧合戦は、ことしも六月五日から十一日までの七日間開かれます。無事故で楽しい凧合戦が送れるようおたがいに注意しましょう。